

抗 RuvA 抗体, ウサギ抗血清

61-005 100 µl

保存: 4℃または-20℃ で送付、長期保存は-20℃。

免疫原: 精製全長リコンビナント RuvA タンパク質 (文献 2)

形状: 0.05% sodium azide 添加ウサギ抗血清

用途:

- 1) ELISA
- 2) ウェスタンブロッティング (x 3,000 希釈) (図 1)

他の用途は試されていない。

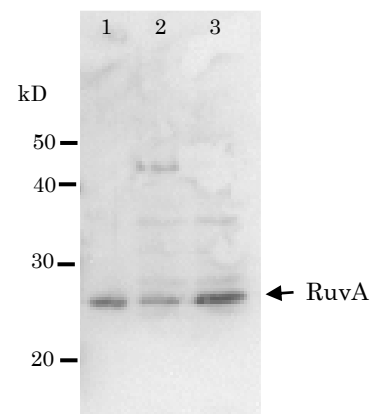
背景: 大腸菌 RuvA タンパク質は、相同組換え、組換え修復の後期過程で、組換え中間体であるホリデイ構造に特異的に結合し、RuvB モータータンパクと複合体を形成して、ホリデイ交叉点を ATP 水解のエネルギーを利用して移動させ、ヘテロ 2 倍体領域を拡大する。水溶液中では 4 量体を形成し、ホリデイ交叉の十字架型 DNA に上下両方からサンドウィッチするように結合する (文献 1、2)。

この抗体を用いたウェスタンブロッティングを大腸菌抽出液で行い **RuvA** に相当する 22kD のバンドが得られた (図 1)。

データリンク: Swiss-Prot [P0A809](#)

文献:

1. Shinagawa H and Iwasaki H (1996) "Processing the holliday junction in homologous recombination." *Trends Biochem Sci* **21**:107-111 PMID: [8882584](#)
2. Iwasaki H *et al* (1992) "Escherichia coli RuvA and RuvB proteins specifically interact with Holliday junctions and promote branch migration." *Genes Dev* **6**:2214-2220 PMID: [1427081](#)



関連製品:

[01-007](#) *E. coli* RuvA protein

[01-009](#) *E. coli* RuvB protein

[01-011](#) *E. coli* RuvC protein

[61-007](#) anti-RuvB antibody, rabbit polyclonal

[61-009](#) anti-RuvC antibody, rabbit polyclonal

図 1 この抗体を用いた RuvA (22kD) タンパク質のウェスタンブロッティング

lane1: RuvA タンパク質 0.8ng

lane2: 大腸菌 AB1157 株粗抽出液

lane3: 大腸菌 AB1157 *lexA* 変異株粗抽出液

RuvA の発現は *lexA* 変異によって増強された。